

一 六十点

問一 a) 放課後 b) 要領 c) 伝 d) 寄宿舎 e) 招待

問二 ①カ ②キ ③エ

問三 A)ア B)ウ

問四 エ

問五 好意をよせている美しい娘を、自分しか知らない洞くつにさそおうとすることに、きんちようしている気持ち。

問六 オ

問七 娘の書いて

問八 イ

問九 祖父にとって大切なものは、本に書いてあったことではなく、少年時代に強く心をひかれ、心をときめかせていた少女とのかけがえのない思い出であるから。

二 四十点

問一 ①ア ②エ ③イ ④ク

問二 人口増加で世界の穀物需要は今の1.5倍になると予想されており、

世界の穀物生産の1割を占めるインドで水不足により生産が落ち込むと、

世界的な食糧不足になるおそれがあるから。

問三 いくつもの州が河川の水を使う権利で対立した。

問四 事業…メコン川水系の水をタイ東北部に引き、大規模なかんがい網を巡らす事業。

事業の効果…国内のコメ生産の半分を占める東北部の農地の8割は天水農業だが、

かんがい事業で水不足を解消すればコメ生産を倍増でき、輸出で外貨を稼ぐことができる。

問五 タイでかんがいに大量の水を使うと、メコン川下流のベトナムで使える水が減り、

農業などに悪影響が出るから。

問六 例) 品種改良により、狭い土地でも大量に栽培できる農産物を作り、普及させるといことができる。

例) 各国が話し合いを行い、生産量を調整し、食糧の無駄な供給を避け、必要な量だけを消費すると

いことができる。